

「令和元年度 第1回多治見市浸水対策協議会」が開催されました

2月20日(木) 多治見市役所において、「令和元年度 第1回多治見市浸水対策協議会」が開催されました。日頃から各機関が連携し、防災・減災のための浸水対策に取り組んでいくことを確認しました。

■日時：令和2年2月20日(木) 16時～17時

■場所：多治見市役所 2階 大会議室

■内容：令和元年度 第1回多治見市浸水対策協議会
・各機関による浸水対策事業の共有 等

■参加者：多治見市長、岐阜県、多治見市、水防団、土岐川観察館、
多治見砂防国道事務所、庄内川河川事務所
(主催:多治見市)

■要旨：

- 平成23年9月の台風15号豪雨では、平和町、池田町、前畑町、田代町等で甚大な浸水被害が発生した。各機関が連携し、土岐川左岸ポンプ場の新設、土岐川右岸ポンプ場の増強、脇之島川の整備等を行い、平成23年9月の台風15号豪雨相当に対し、床上浸水を概ね解消という目標を達成した。
- 一方、昨年10月の台風19号では、台風の進路が東へズレ、たまたま庄内川流域で被害が出なかったものの、長野市では千曲川が決壊する等、関東甲信・東北地方を中心に甚大な浸水被害が発生した。
- 多治見市長の下、岐阜県、水防団、土岐川観察館、多治見砂防国道事務所、庄内川河川事務所の関係者が一堂に介し、各機関が取り組んでいる浸水対策の内容を共有するとともに、日頃から関係者が連携し浸水対策に取り組んでいくことが、洪水氾濫等の有事の際には円滑な対応につながるという認識を共有した。
- また、庄内川河川事務所が整備中の防災拠点、堤防工事箇所等の現地視察が行われた。



■会議状況
協議会主旨を説明する古川多治見市長
(多治見市役所 会議室)



■現地視察の状況
防災拠点の役割を説明する西田庄内川河川事務所長
(土岐川左岸防災拠点)



■現地視察の状況
堤防工事箇所を視察する参加者
(土岐川左岸堤防)